

想像を超える宇宙を暴くアルマ —現状と成果—



アルマ望遠鏡モリタアレイ
Credit: ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)

9/6(木) 16:00~17:00

@A12棟サイエンスホール

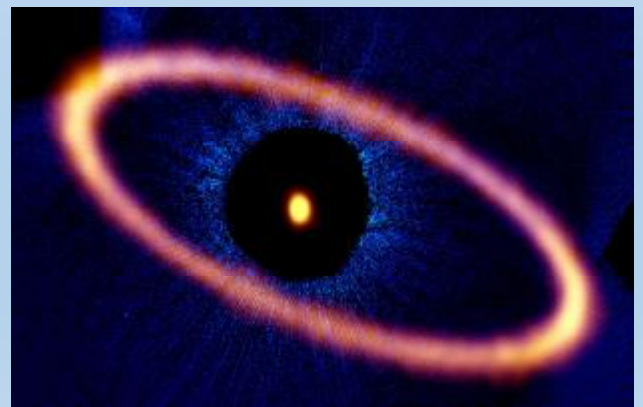
～講演内容～

アルマは、南米・チリの標高5000mのアタカマ高地にある巨大電波望遠鏡です。2013年の本格運用開始以来、銀河や星・惑星系の形成の現場などを、従来にない解像度で描き出してきました。アルマのシステムの詳細と最新の観測成果について紹介します。



講師：浅山 信一郎

国立天文台チリ観測所准教授。
総合研究大学院大学准教授を併任。
大阪府立大学大学院理学系研究科
物質科学専攻修了後、国立天文台
助教を経て現職。
専門は超伝導ミリ波サブミリ波冷
却受信機開発。
チリを起点として世界中を飛び回
り、国際協力によるアルマ望遠鏡
の運用と、将来の性能向上のため
の研究開発を行っている。



フォーマルハウト(みなみのうお座 α 星)を
取り巻く環(合成)
Credit: ALMA (ESO/NAOJ/NRAO), M.
MacGregor; NASA/ESA Hubble, P. Kalas; B.
Saxton (NRAO/AUI/NSF)